

ヒーアさんの函館訪問

10月17日～18日、亀田収容所（函館第2派遣所）にいたロバート・ヒーアさんとカレン夫人は函館を訪問しました。米元捕虜が北海道を訪問したのは戦後初めてとのこと。故アルバート・マッグルー氏（大森、川崎、諏訪などに収容所に収容）の未亡人マーリーン・マッグルーさんと息子スティーヴさんも同行しました。

17日、一行が函館国際ホテルに到着すると、地元歴史家で桜の研究家でもある浅利政俊さんが「Mr. Robert Burton Heer, We should like to give a warm welcome. America and Japan are partner forever」と書いた紙を掲げて迎えてくれました。

浅利さんの案内で、まず亀田収容所跡を訪問しました。正確な場所はまだ確定できていないようですが、有川埠頭に通じる線路際で児童公園となっている辺りと思われるとのことでした。

次に有川埠頭へ。ヒーアさんたち捕虜はここで塩や鮭などを荷揚げしたり、石炭を積み込む作業をしたとのこと。

その後、永全寺を訪問。境内には、函館俘虜収容所本所として使われた函館検疫所の建物が移築されており、その中に函館地区で亡くなった捕虜の慰霊碑があります。戦中、捕虜たちが鎖につながれて歩く姿に同情を寄せた前住職の遺志を、息子で現住職の斎藤隆明氏が継いで建立したとのこと。出張中の斎藤住職に代わって母堂の章子さんが一行を案内、見学後は熱いお茶とお菓子でもてなしてくれました。

浅利さんは、英・蘭捕虜の資料はあるが、米捕虜の資料は皆無とのこと、ヒーアさんに協力を要請し、快諾を得ました。

翌18日は、函館山中腹にある函館本所跡を訪問し、また近くの称名寺境内に建立された函館空襲の碑、墜落米兵の碑を見学しました。

ヒーアさんの函館訪問の様子は、北海道新聞、毎日新聞、函館新聞、NHKの国際局と函館支局が報道、またアメリカの新聞でも報じられました。NHKの海外放送は以下のサイトで見られます。

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/newsline/201310241817.html>

（同行した「捕虜日米の対話」の伊吹由歌子さんの報告をもとに笹本妙子記。写真も伊吹さん提供）



亀田収容所跡のヒーアさん（左）と浅利さん（右）



有川埠頭にて、ヒーアさん（左）と浅利さん（右）



永全寺の慰霊碑を見学する一行